



計画の基本的な考え

1 基本理念及び基本方針

【基本理念】

支え合い 認め合い ともに暮らす

基本構想では、まちの将来像として、「ともに生き ともに創る 彩りのまち調布」を掲げ、共生社会への想いを大切に、産学官民の多様な主体が連携し、市民一人ひとりの様々な生き方、まちのにぎわいやうるおい、地域の特性や資源等の魅力に満ちた、彩りのまちを目指しています。

この将来像の実現に向けて、自殺対策分野では、こころ健やかに支え合い、誰も自殺に追い込まれることのないまちづくりを進めています。

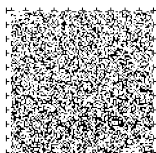
調布市自殺対策計画（第1次）では、自殺には様々な社会的要因が背景にあることから、地域福祉を基盤として、自殺対策を推進することとし、調布市の福祉の将来像を活かし、「支え合い 認め合い ともに暮らす」を基本理念としていました。

本市の自殺を取り巻く現状には課題が残り、将来像の実現は道半ばです。引き続き自殺対策を推進していく必要があることから調布市自殺対策計画（第1次）の理念を引き継ぎ、市民や関係機関等との連携強化による自殺対策を総合的・効果的に推進します。

【基本方針】

- 生きることの包括的な支援として実践と啓発を両輪とした総合的な取組を推進する
- 未然防止、危機介入、事後対応の段階に応じた対策を効果的に連動させる
- 関係団体、民間団体、及び市民との連携・協働を推進する
- 自殺者、未遂者、親族等の名誉及び生活の平穩に配慮し支援を推進する

市民一人ひとりがこころの健康を維持・増進するとともに、多くの支援者がそれぞれの強みや専門性を活かして、悩んでいる人や自殺未遂者、遺された人をより包括的に支援します。さらに、行政のみならず関係機関や企業・地域・市民等が連携・協働し、切れ目のない支援を提供できる体制構築を目指すことを基本方針とします。



2 全体像

計画は下図のように、「基本理念」「基本方針」と6つの「基本施策（全国的に実施されることが望ましいとされている施策）」と4つの「重点施策（地域の特性に応じた対策を選別した施策）」の推進を図ります。

